

令和6年度小松市立中海小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<いじめ・不登校の未然防止に努め、魅力ある学校づくりを目指す>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に学級会・児童議会・委員会を主体的に運営させ、児童集会や行事、様々な取り組みを通して活躍の場を保证する。 ・クラブ活動の内容を児童が決定し、運営する。 ・異学年交流の機会を積極的に設ける。 		
特別支援教育	<家庭と学校、専門機関をつなぎ、個に応じた支援を行う>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・困り感のある児童の担任と日常的に話し合い、早期に手立てを講じる。 ・必要に応じて、コーディネーターが家庭や専門機関と連携をとり話し合う場を設ける。 		
道徳教育	<重点目標を意識した道徳教育を推進する>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等の提案を重点目標と関連させたねらいにしてもらうよう主任に呼びかけ、児童の振り返りの視点にする等、行事や学習活動における重点目標の意識づけを行う。 ・年に2回、重点目標の教材で授業構想シートの活用を図る。 		
読書教育	<読書の質的な向上を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末までに「おすすめ10冊」の全クラス完読を目指すため、学期ごとに目標冊数を決め、各クラスごとの人数を把握する。スモールステップで、完読を目指す。 ・教科関連図書との積極的な利用を図るため、司書と連携し、学期に1回は、並行読書を行う。 ・家族読書や週末読書を行い、家庭学習でも読書の充実を図る。 		
保健健康教育	<生活改善と体力・運動技能の向上を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導を計画的に年5回実施し、学校保健委員会の内容を児童や家庭と共有する。 ・さまざまな体育行事において、児童に目的や目標をもたせ、児童が主体的に体力や運動技能の向上に取り組めるようにする。 ・栄養教諭と連携し、児童の実態に合わせた食育を計画的に実施する。 		
G I G A ・情報教育	<ICT機器を日常の学びに効果的に使用する>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末、デジタル教科書等のICT機器を用いた実践を月に1回の実践報告会で共有する。 ・週に1回の持ち帰りをし、Qubena・デジタル教科書・Teams・及び各種学習サイトを用いて家庭学習を行う。 ・小松市の定めるICT指標を2学期までに児童が達成できるように、授業や朝学習において指導を行う。 		
家庭・地域との連携	<保護者・地域から信頼される学校づくり>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより・学級だより・ホームページ等で、定期的に、保護者や地域に適切な情報を公開・提供する。 ・災害、熱中症、不審者等の安全対策等、緊急時にはコードモンを通して保護者と情報を共有する。 ・総合的な学習の時間に、地域と連携しながら、児童が探究活動を通して、地域の魅力やよさについて知ることができるようにする。 		

学校関係者評価	
---------	--